

次期ビジョンにおける数値目標について（追加分）

次期ビジョンでは、基本理念（めざす姿）の達成に向けて、「スポーツ実施率」に加えて、「スポーツを通じて幸福感を感じている区民の割合」を数値目標として設定します。

新規目標：スポーツを通じて幸福感を感じている区民の割合

指標項目	策定時 平成27（2015）年	現状値 令和7（2025）年	目標値 令和18（2036）年
スポーツを通じて幸福感を感じている区民の割合※	— (測定なし)	67.4%	80%

※中央区運動やスポーツに関するアンケート調査（令和7年度）において、回答者総数のうち、スポーツに参画した人（スポーツを実施した人又は区内・区外の会場、テレビ、インターネットのいずれかでスポーツを観戦した人）で、かつ現在の幸福感を「4点」、「5点」と回答した人の合計

ウェルビーイングとは、WHO憲章において「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」とされており、多くの研究からスポーツがウェルビーイングの向上に寄与することが示されています。

回答者総数におけるスポーツに参画した区民で幸福感が高い人の割合は67.4%となっており、過半数を占めている状況です。

令和7年に策定された都のスポーツ推進総合計画では、基本理念に「誰もがスポーツを楽しむ東京を実現し、一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を変革する」が掲げられており、達成指標に「スポーツを通じて幸福感を感じている都民の割合」が設定されています。現在策定中の国の第4期スポーツ基本計画においても、基本計画策定の考え方に生涯を見通したウェルビーイングの実現が示されており、本ビジョンにおいてもスポーツを通じた区民一人一人のウェルビーイングの向上を目指して、上記の指標を数値目標として設定します。

【参考】

	スポーツの参画状況別の幸福感（4点または5点）	現状値 令和7（2025）年
区	スポーツを実施した人（「しなかった」を除く）（n=418）	62.9%
	スポーツを観戦した人（「観ていない」を除く）（n=383）	57.6%

	指標項目	現状値 令和7（2025）年	目標値 令和12（2030）年	目標値 令和17（2035）年
国	日常生活における充実感※1	51.2%	—	—
都	スポーツを通じて幸福感を感じている都民の割合※2	72.8%	75%	80%

※1：スポーツの実施状況等に関する世論調査（令和7年度）において、日常生活における充実感を「10点十分充実感を感じている」、「9点」、「8点」、「7点」と回答した人の合計

※2：都民のスポーツ活動に関する実態調査（令和7年度）において、スポーツに参画した人（スポーツ実際に観戦した、スポーツをテレビ・ラジオ・インターネット配信で観戦した、スポーツを支える活動を行ったのいずれかを選択した人）のうち、現在の幸せ度を「10点」、「9点」、「8点」、「7点」と回答した人の合計